

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公開番号】特開2010-256911(P2010-256911A)

【公開日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-045

【出願番号】特願2010-122121(P2010-122121)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/167 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/167

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月11日(2011.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

化合物液滴(54)を形成するための方法であって、該化合物液滴(54)が、第1液相(10)のコアを含み、該第1液相(10)のコアが、該第1相(10)と非混和性の第2液相(12)の外側相によって取り囲まれ、該方法が、以下：

該第1相(10)が、第1流体中に懸濁された複数の粒子(20)を含む非水性内部相であること；

該第2相(12)が、外部相であって、該外部相が、固体化され得てマイクロカプセル壁を形成し、第2流体を含み得ること；

該第1相(10)が、開口端(52a)を備える第1チャンネル(52)を通過すること；

該第2相(12)が、開口端(50a)を備える第2チャンネル(50)を通過し、該開口端(50a)が、該第1チャンネルの該開口端(52a)を取り囲むこと；および

キャリア流体(64)が、該第1および第2チャンネル(52、50)の開口端(52a、50a)の周りを通過すること；

それによって、複数の該化合物液滴(54)を該キャリア流体(64)内に形成すること、

を特徴とする、方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法であって、前記キャリア流体が気体であることを特徴とする、方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法であって、前記キャリア流体(64)が、前記第2相(12)と非混和性の流体であることを特徴とする、方法。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の方法であって、前記第1相(10)の周りにマイクロカプセル壁を形成するために、前記第2相(12)を固体化することを特徴とする、方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の方法であって、前記化合物液滴(54)が、前記キャリア流体(64)

内に依然として保持されたままで、マイクロカプセル壁を形成するために、前記第 2 相 ( 1 2 ) を固体化することを特徴とする、方法。

**【請求項 6】**

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の方法であって、前記第 1 および第 2 チャンネル ( 5 2 、 5 0 ) を振動することを特徴とする、方法。

**【請求項 7】**

請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の方法であって、前記収集流体が、前記第 1 および第 2 チャンネル ( 5 2 、 5 0 ) の前記開口端 ( 5 2 a 、 5 0 a ) に隣接して狭くなる第 3 チャンネル ( 5 8 ) 内に制限され、その結果、該収集流体が、該開口端 ( 5 2 a 、 5 0 a ) を通過するように加速する、方法。